

HU-style

04 | 2006
Jan.

 広島大学

特集

働くって何だろう?

あの人に会いたい

アグネス・チャン

INTERVIEW with Agnes Chan

あの人に会いたい

歌手・エッセイスト・教育学博士 [Ph.D.]

アグネス・チャン

人生は一度っきり。
Everyday is my birthday

PROFILE

香港生まれ。1972年日本で歌手デビュー。上智大学を経てカナダ・トロント大学を卒業。85年エチオピアの飢饉地帯を取材、その後は芸能活動のみでなく、ボランティア活動、文化活動にも積極的に参加する。89年米国スタンフォード大学に留学、94年教育学博士号 (ph.D.) 取得。98年日本ユニセフ協会大使に就任。タイ、スーダン、東西ティモール、フィリピン、カンボジア、イラク、モルドバ共和国などを視察し、現状を訴える活動を続けている。2005年12月、広島大学の「第14回ベスタロッcher教育賞」を受賞。



ともに生きるためには、怖がってはいられない

85年にエチオピアの難民キャンプを訪れ、初めて目の前で子どもたちがばたばたと死んでいくのを見ました。自分と同じ時代に生きているのに、こんなに苦しんでいる人々がいる。この子たちと自分の命は、本当は境目がないはずなのに、生まれ育った場所によって運命が全然違う。この体験を忘れてはいけなし、放っておけないと思ったんです。一人でも多く、長く生きてほしい。それから「理屈よりは行動、言葉よりは結果」と思って、可能な限りいろんな国へ足を運びました。

戦時下や伝染病が蔓延している地域は確かに危険です。でも大勢の子どもたちがそこで頑張っているのだから、私にだって行けないわけがないと思うんです。目指しているのは「ともに生きる」こと。それは「ともに死ぬ」ことにも通じます。だから怖くはないですね。もし命を落としたらそれは運命。生きて帰って来られたら、自分にはまだやるべきことがあり、役目が終わっていない印だと受け止めています。

子どもの生きる権利、教育の大切さを訴えたい

ボランティア活動を始めた中学生のころは、障害のある子や難民の子が大勢いるということを知って「かわいそうだから何かしなければ」と無我夢中でした。24時間テレビで募金を呼びかけた時も「かわいそうだから助けてください」という思いでした。でもユニセフ大使になってからは「かわいそう」という見方だけではだめだと感じています。生きていくことは子どもの権利なんです。私は地球上に生きている一人として、この当然の権利を訴えていく責任があると思っています。

ユニセフの活動を通して感じるのは、社会の基礎となるシステムを改善しなければ、根本的な解決にはならないということ。中でも一つの大きな柱になるのが教育です。学校に行けるかどうかで、人生に大きな差が生まれます。これまで「すべての子どもたちが学校に行けますように」という願いを持って活動に取り組んで来たので、今回「ベスタロッcher教育賞」の受賞者に選んでいただいたことは、私を励ましてくださっているように感じて、とても嬉しかったです。

もう一度会いたい。そう思ってもらえる人に

さまざまな国を歩いてみて、自分はすごく恵まれていると感じます。平和な国に住み、健康で、働くことができ、子どももいて…日本では普通かもしれませんが、そんな人は世界には一握りしかないんです。特に女性はそうですね。それでもみんな必死で生きている。だから私も弱音をはいちゃいけないし「明日はないかも」という気持ちで毎日を精一杯頑張りたい。人生は一度っきり。私は毎日が誕生日だと思っています。そう考えれば「今日をよりよく生きるために、どうすればいいか」ということにエネルギーが向く。だから「Everyday is my birthday」。

歌やバラエティ番組などの本業でも同じです。楽しみながら120%の力で頑張って、一緒に仕事をした人に「もう一度アグネスに会いたい」と思ってもらいたい。それが結果として、私がボランティアをする時の一番の力になるんです。以前、萩本欽一さんに「本業を一生懸命やって、ずっと人気者でいなさい。じゃないとボランティアをやっても訴える力がないから」と言われたことがあります。ボランティアをしていると、時々仕事を二の次にしちゃいたいこともあるけれど、そんな時にはこの言葉を思い出しています。



学生のメリットを活かして、行動してほしい

大学生の間はいろんなドアを開けられるんですよ。誰かと話したいと思ってノックしたら、大体みんな応えてくれる。〇〇会社の社員と言うより、広島大学の学生と言ったほうが中に入りやすいですね。世界の子どもたちに関心がある人も、この利点を活かして、いっぱい学び、体験し、表現、発信してほしい。そうするうちに世の中に波が広がって大きなうねりができ、最終的には子どもたちのためにもなると思うんです。

それから、壁にぶつかることがあっても、私はすぐにやめないうほうが良いと思う。壁は壊さないと消えないから。前に進むためには、自分の力を信じ、持ち味を活かして、壁を乗り越えていってほしいですね。



取材を終えて

世界の子どもたちに対する強い思いが伝わってきて、取材中に涙が出てきました。まずは少しでも動いてみて、自分からいろんなものを発信していきたいと思えます。この記事を読んだ皆さんが、何かやってみようかなという気持ちになってくれたら嬉しいです。

取材・記事 / 総合科学部4年 新居 璃音

にっこりと穏やかな笑顔で、私たちの目を見つめながらお話をくださったアグネスさん。生きることに対する考え方やポジティブさが、強く心に残りました。特別な人だけが持つ「オーラ」というものを感じた今回の取材。貴重な体験となりました!!

取材 / 教育学部4年 末永 紗央里



働くって何だろう？

みんな何のために働くんだろう？「働く」って何をどう考えているんだろう？学生スタッフのそんな疑問から、今回の特集は始まりました。もちろん人それぞれで正解はないけれど、今までよりちょっと広く、深く考えるきっかけは、いっぱい見つかった気がします。

PART1 学生に聞く

就職活動を終えた4名の学生にインタビュー。
就職が決まるまで、そしてこれからについて聞きました。

人と接することで自分を成長させたい

磯崎 智美さん 教育学部4年(小さい頃からアナウンサーを目指していたが、最終的には住宅メーカーの営業職に内定)



昔から人と関わることが好きでした。ただの目立ちたがり屋だったのかもしれないけど(笑)、生徒会の役員をしたり、大学でもキャンプの企画局に入ったり。私の場合、周りに誰かがいないと張り合いが持てないんですよね。アナウンサーを目指したのも、人と接し、何かを伝える仕事があったから。実際はどんな職業なんだろうと思って、テレビ局でアルバイトしました。でも採用面接ではいい結果が出なくて…。諦めてしまうか就職浪人するか迷ったけど、就職活動をするうちに、人と接する、伝える仕事はアナウンサーだけじゃないということに気づいたんです。営業という仕事も、私の想いや商品のいいところを人に伝えられる、自分の気持ちを表現できるって。職種は違けど、似たところがあると思ったんです。それと「少しでも興味がある仕事ならやってみたほうがいい」というアドバイスも大きなきっかけになりましたね。アナウンサーへの想いが完全にふっされたわけではないけど、まずは社会に出て頑張ってみる。それで、この仕事もいいなと思えばずっと続けるだろうし、やっぱりアナウンサーになりたいと思ったら、またそこで考えればいいかな…と。

大学に入って幅広い年齢の人たちと話をし、人と接することで自分の価値観が大きく広がるということに気づいたんです。社会人になると、もっといろんな人に会えますよね。その中で自分を成長させていきたい。就職予定の会社は、高校の時から興味があって大学でも学んできた住居関係。営業職といっても家を売るだけではなく、自分がやりたいことをアピールすればどんな仕事でもできるそうなんです。今は入社後に必要となる資格試験の勉強をしています。営業をやるからにはトップになりたい。そして、図面も描けてインテリアも任せてもらえるようにしたいですね。

でっかい人間になる

酒井 大和さん 生物生産学部4年(学生と社会人との懇親会でイベントリーダーをした時にできた縁で、飲食業に内定)



3年の冬に参加した社会人との懇親会で「うちの会社を見に来ない？」と声をかけられたんです。「ベンチャー精神」で飲食業をやっている会社の人事の方に。飲食関係には興味がなかったのに、話し込むうちにかなり強烈に惹かれ、会社側からも「ぜひ来てくれ」という話になって採用が決まりました。

その頃漠然と考えていたのが、人と違うことをしたい、独立したい、でっかいことをしたいということ。かといって特別な何かをしていたわけではないけど、とにかく積極的に動いてました。ベンチャー企業の社長秘書インターンシップに参加したり、懇親会でリーダーを務めたり、社会人の集まりに顔を出してみたり…チャンスがあれば「やります、行きます」っていう感じで。口下手だから行動で示そうというのもあったかな。その中でたくさんの方と社会人、特にいろんな会社の社長や人事担当の方と出会えたのは自分にとって大きかったですね。結果的にはその縁で就職も決まりました。ほんと、社会人の方からはすごく刺激を受けました。就活の話だけでなく、人生とか働くことに対するリアルな意見を聞くことができたし、何よりみんな自分の柱を持っていたのがカッコ良かったですよ。

実は、入学当初は親や親戚の期待通り公務員になるつもりだったんです。「何かやってやろう」と思うようになったのは、今思えば事故がきっかけかな。車は廃車、運が悪ければ死んでいたかもしれない。でも、死に直面したことと生きていることに感謝するようになったし、漠然とだけど、何でもできる、どんな苦勞でもやってやろうって思ったんですよ。

社長には「独立だけじゃなくて、この会社で大きなことをするのも一つの手」と言われたし、今のところ独立の具体的なプランがあるわけじゃないんですけど。ただ、将来的には自分の集団を作って楽しくやっていきたいという想いはある。スタッフから信頼され、慕われるような大きい人間、芯のある男になりたいです。

あなたにとって「働く」とは？



人が笑っていると自分も嬉しい

荻野 裕貴さん 大学院工学研究科博士課程前期2年(第一希望の電気機器メーカーを大学推薦で受け、研究職に内定)

大学院で研究しているのは、パソコンやマウスを「いつでもどこでも誰でも」使うことができるシステム。障害のある方に協力してもらいながら研究を進めてきたこともあり、そういう人も含めてみんなが楽しく生活できる社会になっただけいいなと思っています。学部時代は、コンピュータのチップを作るような研究に興味があったんです。でも、ちょうどその頃、戦争で苦しんでいる人々をテレビなどで見て、その研究をつきつめても使えない人たちはやっぱり使えない。一人でも多くの人のために自分ができることは何だろう…と漠然と考えていました。そんな時に出会ったのが今の研究室。2、3日で進路変更しちゃいました(笑)。

考えてみると、自分のために何かをするよりは、自分がしたことでも人が笑ってくれた方が嬉しいと感じることが多いかも。働く上でも、自分の仕事で誰かが幸せになれるならそれが一番ですね。就職予定の会社は電気機器メーカー。従来のように人が機械に合わせるのではなく、人が何かをしようと思ったら機械がそれを察知してくれる。そんな機械をつくることによって、人がより楽しく豊かに生活できる社会を目指しています。説明会に行った時、会社が目標とする社会像があまりにも自分が目指すものと一致していて、鳥肌が立ちました。絶対に受かってやろうと思いましたね。ただ、大学推薦とはいっても選考の最初の段階が免除されるだけだったので、実際には大変でした。内定が出る時期が遅くて後がないという不安も大きかったですし…。

博士課程後期に進学せず就職することを選んだ理由の一つは、大学という限られた空間ではなく社会に出た方が、自分の研究を広く世の中に知ってもらえると思ったから。将来的には、研究成果や自身の想いを人に伝えていきたいという気持ちもあります。それで影響を受ける人が増えれば、社会が少しずつでも変わっていくんじゃないかと思うんです。



どこに行っても目標は見つけられる

服部 美保さん 総合科学部4年(公務員にしようとして就職活動。国家公務員Ⅱ種試験に合格し、中国財務局に内定)

2年生の時に参加した議員インターンシップがきっかけで、国を動かす仕事に興味を持ちました。でも政治家になるのは現実的に考えて難しい。公務員なら政策に関わる仕事だし、現場の声を政治に反映させることもできるかなと思って。第一希望は入国管理局。大学で学んでいる外交を「肌で感じることができる」という説明会での言葉に惹かれました。でも既卒者を採用しなかったらしく断念。官庁訪問をしていく中でいいかも!と思ったのが財務局です。財務って外交とは関係ないし「お金のことだけ」というイメージだったんですが、話を聞くと、地方の状況を分析して国の政策に反映させたり、自治体に融資することで地方に貢献できたり、いろんな仕事ができそうだと。ここなら生涯勉強しながら成長していけると思ったんです。

民間企業への就職を全く考えなかったわけではないけど、仕事に一番魅力を感じたのが公務員。それに自分の性格を考えると、こつこつ努力した結果が反映されやすいペーパー試験の方が向いているというのもある。何か一つに特化して仕事を選ぶというより、私は多分「バランス型」。仕事内容や職につくためのプロセスを総合的に考えて決めたという感じです。『働くことは自己実現』ってよく言われるけど、それにとられ過ぎると就職できなくなるんじゃないかな。それ以前に、働くこと自体、ちゃんとお金を稼いで自立するってことが大事だと思うんですよね。実際に働いてみてどうなるかは分からないけど、とりあえず10年ぐらいは頑張ってみようと思います。大学に入学する時に高校の先生に言われた「住めば都」という言葉。就職にしても、行ってみればそこで何かやりたいことや目標を見つけて毎日を充実させる自信はあるし、それに向かって頑張ることが大切だと思っています。



キャリアニコニコ相談室は、進路・キャリアに関するアドバイスを受けられるところ。今日も一人の悩める若者がやってきました。

若者 「働くこと」について考えようとしても、何をどう考えたらいいのかわからなくて…。

先生 「働くこと」は「生きること」や「学ぶこと」と深い関わりがあります。ですから、これらを合わせて考えるようにしてみてくださいね。その時に大切なのが、時間軸と空間軸を伸ばすこと。つまり、現在という時間にとどまらず年を重ねてからのことや、大学という空間にとどまらず日本や世界へ視野を広げて考えることが大事ですよ。

若者 なるほど…。でも実際に進路を考えていく時は、どうしたらいいんですか？

先生 まず、以下の3つを常に自分自身に問いかけてみましょう。



この3つが重なるところに、あなたの生き方、進路があるのです。学生の間だけではなく、就職して働きはじめてからも、また、転職を考えるようになった時にも、必要になってくる大切なことです。常に頭の片隅におき、自分に問いかけてみてくださいね。それでは、具体的なアドバイスを3つ。悩みを解決する鍵になるでしょう。

KEY 1 自分で情報を入手する

目的を持てば、欲しい情報はインターネットや本などでいくらでも調べられる時代です。自主的に動いてみましょう。

KEY 2 情報を自分と結びつける

KEY1で得た情報を自分の将来の生き方や働き方に結びつけてみましょう。また、日常生活の中で感じること、例えばアルバイトでの体験やサークル活動で得る充実感などを将来にどうつなげていくか意識を高めてみてください。

KEY 3 キャリアセンターを利用する

職業選択や就職活動のための各種資料が利用できます(HPでも公開)。また、個別相談も受け付けています。



たくさんのヒントを得て、若者は笑顔で帰って行きました。

キャリアセション

場所 大会館2F Tel 082-424-6987

E-mail kyariakyaria-group@office.hiroshima-u.ac.jp

HP http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyaria/

PART2 人事部長に聞く

「働く」ということを考えたり、実際に就職活動をする時に感じる不安や迷い。企業で長年採用を担当している人事部長に、率直にぶつけてみました。



中澤 二朗 氏

新日鉄ソリューションズ株式会社
人事部部長

1951年生まれ。
1975年新日本製鉄入社。鉄鋼輸出、生産管理、労働部門を本社や製鉄所で経験。
新日鉄情報通信システム(株)発足(1988年新日鉄の情報部門の分社)以来、同社および新日鉄のエレクトロニクス・情報通信事業部において人事および総務を担当。
2001年4月、新日鉄ソリューションズ(株)発足時より現職。元筑波大学非常勤講師(平成15年度)。

「やりたい」というキーワードを離れる

—就職活動で「この会社でどんな仕事をやりたいのか」を聞かれますが、よく分からなくて…

まだ働き出していない皆さんが、「やりたい仕事とは何か?」と問われて戸惑うのは無理ありません。人事担当者は別として、既に働いている人ですら、大きな組織の中にはどこにどんな仕事があり、「やりたい仕事」がどこにあるのか、なかなかつかめないのが実情だからです。それに、運良くそんな「やりたい仕事」に巡り会えたとしても、失敗したり叱られたら途端に「やりたくない仕事」に変わってしまう。だから「やりたい」というキーワードからひとまず離れる。「やりたい

仕事」に振り回されないために、まずはそんなことから始めてみてはいかがでしょうか。

「やりたい方面」で考えてみる

ただそうは言っても「やりたい方面」ぐらいいは、あるに越したことはありません。北に行きたいのか、南がいいのか。「何となく惹かれるなあ、好きだなあ」そんな感覚でいいから「やりたい方面」少なくとも「やりたくない方面」ぐらいいは腹決めをする。そしてそれ以上は考えすぎない、こだわらない。「やりたい仕事」をピンポイントで狙ってもそう簡単に見つかるものではないし、そもそもそんなものがあるかどうかさえ分からないからです。答えのないものにてこずるよりも、「惹かれるなあ」と感じたところで一歩を踏み出す。その小さな勇気が大切なのです。歩いていけば、今まで見えなかった色々なものが見えてくる。幸せとは「夢の実現」によってではなく「夢を追いかける」その姿の中にこそあるという人がいますが、自分を信じてとにかく踏み出す。その先のことは歩きながら考える。いや、実は歩き出した方がより良い出会いが待っている。歩き出し、働き始めると必ず山のコダマが跳ね返り、新たな思いがまた作られるはずですよ。



—では、面接で「やりたい仕事」を聞かれるのはなぜでしょう

一つは大きなミスマッチが起こらないように本人の意向を確認すること。もう一つは、「やりたい」という気持ちの底にある価値観めいたものを確かめること。その

二つがまずあるように思います。一つ目は言うまでもありませんが、二つ目はこういう意味です。いくら本人が「やりたい仕事」だと言っても、それをやらせたからといって、本当にそれが本人のためになるとは限りません。当然と言えば当然ですが、まだ働き出していない人の「知っている仕事」には限りがあります。

逆に、本人の「知らない仕事」「やりたくない仕事」の中に、本当に本人のためになり、成長を促す仕事があるかもしれません。実際にそういうことは多々あります。そんな本人のまだ気付かない「意味のある仕事」を見つけ出すのも私たち人事担当者の大切な仕事の一つです。

「仕事は「壁」なのか「穴」なのか?

—中澤部長にとって「働く理由」とは

「働く理由」には、生きる、家族を養うというものから、義務(憲法27条)、時間をつぶす、生きがいを感じたい等々、実にさまざまなのがあります。あまりに色々あります。どれもが本当の理由が分からない。そんな言葉の方がむしろ本音に近いのではないのでしょうか。

ただ、私はむしろそここそ働くことの本物の理由が隠れているように思っています。というのは、仕事は「壁」でもあるが「穴」でもあると思うからです。どういうことかと言うと「仕事そのもの」を「壁」に例えれば、その仕事を「穴」と見立てる人がいるように思うのです。かみくだいて言うところのことです。

人は「仕事とは何か?」と問われた時、例えばインターンシップ経験談などを読むと「仕事を通して〇〇を感じた」という表現をよく使っています。〇〇には「やりがい」や「つながり」など人それぞれ色々なものを入れるのですが、

不思議に「通して」という言葉は共通している。「通して」という限りはきっとそこに「穴」があるに違いない。仕事はもしかしたら「穴」の役割も果たしているのではないか。そんなふう考えたのです。



働いてお金を儲け、暮らしを立てる。そういう時の仕事は、ただ目の前にそびえ立つ無味乾燥な「壁」のようなものかもしれません。しかしその仕事を「通して」、「壁」の向こうの世の中を良くしたい。そう思った途端、仕事は「壁」でもあるが、そこには世の中に通じる「穴」が開いている。もしそうだとすれば、仕事を「穴」として捉える人は「やりたくない仕事」も「やりたい仕事」にしてしまうことがあるかもしれない。そこまで言わないにしても、周りで見ている人にはそう見える。いや「できる人」は夢や思いを抱き、仕事を「通して」世の中に働きかけることによってそれを実現していく。仕事は「穴」とはそういう意味であり、それは意識一つでそうなるのです。

—でも周りの社会人に「何のために働くのか」を聞くと、「お金のため」とか現実的な答えが多く返ってきます

「お金のために働く」という答えはもっともであり、そう認識することは、実は今の世の中の仕組みからすると大切なことです。ただ、そこでどとまってしまうのはさすがに問題がある。なぜならば「お金のため」という目的だけで、会社を儲かる会社にすることは非常に難しい。お客様や世の中に「貢献」してお金という見返りが後からついてくるわけですから、何をもって



どう貢献するかに答えを用意し続けないと会社は生き延びられない。また言うまでもなく、働く人の気持ちにしても、金儲けというだけで働く意欲はわきません。少なくとも大勢の人にやる気を持って長く働いてもらうことはできません。

ではどうするか。また話は「壁」と「穴」に戻ります。仕事を「穴」と見立てる人は、仕事「壁」の向こうの世の中に働きかける。すると働きかけられた世の中からはコダマが返り、それがその人の心を揺るがす。その勢いでますます頑張り、それがまた見返りを増す。それに引き換え、仕事を「壁」と見るだけの人にはそれがない。その違いは意識一つによるのです。

「会社を通して「社会」に貢献する人

—就職マニュアル本についてはどう思いますか

多くを見たわけではありませんが、それなりにどの本もプロの一言が書かれているなど感じています。

ただ、それぞれはごもっともでも、それを受け止める側が混乱してしまっはけません。どういうことかと言うと、前に触れましたが「働く理由」は十人十色で定まらない。にもかかわらず、いちいちそれを追いかけて回してはキリがない。

要は、人を採る時の大事なポイントは「貢献」にあります。どのくらい会社に貢献し、世の中に働きかけてくれるのか。働きかけた感謝の見返りがお金であり、明日のビジネスの基礎となる信頼であるならば、そこを会社は見たい。ただそれを見極めるのが難しい。ましてや変化の時代であれば「期待像」自体もどんどん変わります。

—短時間の面接の中でそれをどう判断するのですか

そもそも正解がないものを、それも短時間で判断するのは至難の技です。ただヒントはやはり「壁」と「穴」にあるように思っています。つまりこういうことです。

ある「方面」に惹かれる「何か」を持っている。決して具体的では

ないが、そんな惹かれる「何か」を持ち、一歩を踏み出す予感がある。言い換えれば、そんな予感という期待が持てる、仕事を「穴」と見立てる力を持った人が、まず望まれる人の要件のような気がしています。

ではどうしたらそういう人を見極められるのか。そうした人たちは「面接」で対峙し、言葉を聞いただけでは分かりません。そうではなくて、寄り添いながら散策するような感じで話をする。横に並んで静かに歩き、思い浮かぶ話題について言葉を交わす。テーマは履歴書に書かれたものでも、ふと思いついたものでも何でもいい。人の人となり、言葉を越えた五感でこそ初めて受け止められるように思うからです。

もちろんプロとしてやっていけるかどうか、基本的な質問は欠かせません。大きな「方面」が違っていたらどんなにいい人でも採れません。しかし、仕事を「穴」として見立てる意識を持ち合わせている人は、大きな「方面」さえたが



えなければ、きっと「やりたくない仕事」も「やりたい仕事」にしてしまうように思えてなりません。

日常を読み替える

—社会人から見て、学生時代はどのように過ごしたらよいでしょう

月並みですが「今でしかやれないことをしっかりやる」その一言に尽きるように思っています。ただ留意すべきは、それを今までの延長ではなく、世の中や仕事という「新たな視点」から問い直す。就職先が決まっていれば、入る企業や職種という「新たな視点」から森羅万象を読み直す。学生生活から「離れる」のではなく、そんな意識を持って、あえて「密着」する。そんな身の周りの出来事や物事、あるいは考え方を「新たな視点」から見つめ直してノートにメモをとっておくことをおすすめします。二度と今は戻ってきませんから。

編集後記 … 学生スタッフのつぶやき

なぜ働くの?と聞かれたら、「お金を稼ぎたい、成長したい」っていうのが私の答えだった。じゃあなぜお金を稼ぎたいの?なぜ成長したいの?どうなったら成長したってことなの?と最近はや考えてみたりしてる。何かが見えてきそうな気がするし、そういうことを考えるのって意外と面白い。

4人の学生にインタビューして思ったのが、かっちり計画通りに進もうとしなくても、目の前にあるもの、行動して見えてきたものに対して自分のセンサーがどう反応するか、それを大事にしながら動いていけばいいのかな、ということ。まずは行動しながら進んでいこうと思う。



夢とか目標って、具体的に持たなきゃいけないものだと思ってた。仕事を選ぶ時も、「なんでこの仕事なのか、この仕事で何をしたいのか」をはっきり答えられないといけなくて。でも、ぼんやりしていてもいいのかもしれない。それは大きな発見だった。

あなたは、この特集から何を感じましたか?

学生取材班が行く

プチトリビアや時事問題、ちょっと気になる先生まで、
あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



冬こそアクティブに —ウインタースポーツ—

冬まった中、こたつから抜け出せない…なんて人も多いのでは？
心当たりのある皆さん、広島県には多くのスノーリゾートがあるのをご
存じですか。

今回取材班は、廿日市市吉和にある「めがひらスキー場」に行っ
てみることにしました。まずは道具の準備から。スノーボード、スキー・
ストック、ブーツは体育会で借り（会員証があれば無料）、ウェアは現
地でレンタル（有料）することにして、小物（帽子、ゴーグル、手袋）だ
けを事前に自分たちで揃えました。あとは交通手段を調べれば準備
完了です。取材日は11月下旬。まだスキーバスが運行されていなか
ったので、車で向かうことにしました。



人工雪で造られたコースはこんな感じです。好天の中、積雪より一足先に滑れるの
が魅力です。

いよいよオープン直後のスキー場へ。もちろんまだ雪は積もってい
なかったため、人工造雪ゲレンデで滑りました。
遠目に見ると分かりませんが、人工雪は粒が
大きく、氷を砕いたような質感。そのため天然
の雪より固く、転ぶと衝撃が大きかったです。



私はスノーボードに初挑戦。何度も尻餅を



一枚の板に両足を固定
するなんて!と聞いていま
したが、コツをつかめば楽
勝!?です。

ついていると、たまたま遊びに来られていた
インストラクターの方が親切にアドバイスを
してくださいました。繰り返し滑るうちに、ス
ピード調節やターンの感覚がつかめてきて、
最後には頬に当たる冷たい風を心地よく
感じながら滑れるようになりました。

すっかりウインタースポーツに魅了されて
しまった今回の体験。行く前には、ちょっと
面倒なイメージを持っていましたが、意外と

気軽に楽しめるということを実感しました。冬こそアクティブに! 皆
さんも、外へ飛び出して寒い冬を熱く過ごしてみては?

取材・記事 / 教育学部4年 末永 紗央里

熱くなれる?冬の味覚 —美酒鍋—

寒い季節はやっぱり体も心も温まる鍋! 西条といえば日本酒を
使った美酒鍋! ということで、賀茂泉酒造の奥様に作り方や由来
を教わってきました。

1 材料は、肉（豚の三枚肉、鶏肉、砂ず
り）、白菜、玉ネギ、ニンジン、長ネギ、
厚揚げ、こんにゃく、日本酒、にんにく、
塩、胡椒。酒は必ず純米酒を! 鍋
はテフロン加工のものか、すき焼き鍋で。



2 豚の三枚肉を入れ、脂が出たらに
んにくを入れる。砂ずり、鶏肉の順に炒
めて、肉の色が変わったら塩、胡椒で
しっかりと味をつける。



3 かい野菜や厚揚げ、こんにゃくを入
れ、最後に白菜で蓋を。その上から日
本酒を1カップ弱加えて蒸す。日本酒
の入れすぎには注意。



4 水分がなくなったら食べごろ。続けて
作る時には、いったん鍋を空にするの
がポイント。



完成した美酒鍋は「鍋」とはとっても一見野菜炒め。体質的に
お酒が全く飲めない僕はいささか不安でしたが、口に入れた瞬間、日本
酒の甘い香りが鼻から抜け、野菜本来の味がして、非常においしく
いただけました。柔らかく蒸した野菜の中で、砂ずりとこんにゃくのコ
リコリとした食感がアクセントになり、食べ応えもありました。

この鍋は、酒蔵に勤めていた方が、人が集まった時に酒蔵で簡単
なごちそうを作るために考え出した料理だとか。本来「びしょなべ」と
呼ばれていましたが、西条名物として酒まつりで出される時に「び
しょなべ（美酒鍋）」となったそうです。

材料や作り方は、蔵やお店によって違うとのこと。今回紹介した
のは、もとの形に近いものだそうです。自分のお気に入りのレシピを
見つけるもよし、お店を食べ歩きするもよし。この冬は西条のお酒と
ともに、美酒鍋を味わってみてはいかがでしょうか?

取材・記事 / 総合科学部2年 中原 健太

Knock on the door

■ 知らない場所への関心が 今の仕事の原点

■ 総合科学部 フンク研究室訪問

旅行や観光の研究も真面目な学問

「幼い頃から、地図を見てどの道を通るのが一番面白いだろう、どんな場所なんだろう…と想像するのが大好きだった」というフンク先生。ドイツのフライブルク市と愛媛県松山市が姉妹都市であることをきっかけに来日。今年で19年目になるそうです。



瀬戸内海の手図。普通の地図を見ていたのでは分からない県と県のつながりがよく分かります。私の出身地・愛媛県と広島県が本当に近いことを実感！



フンク・カロリン

総合科学部
広域文化研究講座 助教授

1961年ドイツ生まれ。
86年ドイツ・フライブルク大学
地学部卒業。87年来日。88年
松山大学経済学部講師などを
経て98年広島大学総合科学部
講師。01年から現職。
地理学博士（98年フライブルク
大学）。専門分野は人文地理学、
観光地理学。研究テーマは「持
続可能なツーリズム」「日本に
おける観光開発」「ヨーロッパ
における地域開発と観光」「ま
ちづくりと住民参加」など。
合気道4段。広島国際合気道道
場で指導している。

大学時代の専門は人文地理学。観光の分野に関心を抱いたのは、来日した1987年に制定された「総合保養地域整備法（リゾート法）」を知った時だとか。「働きすぎで休みをあまり取らないといわれる日本でリゾート法ができ『休暇を過ごせる施設をつくろう』とか『無人島一つをリゾート地にしよう』という話がたくさん出てきた。その動きがどうなっていくのかに興味を持ったのです」

ただ、日本ではまだ旅行や観光に関する研究は真面目な学問だと思ってもらえないという苦労もあるそうです。

観光地の発展には明確なコンセプトが必要

1年生向けの地域地理学の授業では、必ず東広島のことを取り上げているとのこと。「大学生生活を過ごす場所について、少しでも知ってもらいたい」と、まずは地形図を見ることから始め、グループを組んで学生自身がテーマを設定し、巡検に行くそうです。

先生は宮島や尾道のまちづくりプロジェクトにも携わっています。「日本には観光に関するデータがほとんどないため、一から自分で調べなければならない」という大変さがあるのだとか。例えば広大の「地域貢献プロジェクト」で実施した尾道の調査では、1年生約100人を連れて行き、観光客にアンケートを実施。年齢、訪問回数、交通手段といった観光客の特徴を始め、尾道に対するイメージや求めるもの、評価などに関するデータをまとめて、尾道市に提案したそうです。

まちづくりや観光地の発展といっても、単純に観光客の数があればよいというわけではないのだとか。「人数が増えても、訪れた人たちが本当に地域に利益をもたらしているのか、その良さを分かってくれたのかは別問題。例えば、2010年までに外国人旅行者を倍増させようという国の政策がありますが、本当に大切なこと、日本をちゃんと理解して帰ってもらえるかは疑問ですね。それに、まちや観光地としての特徴をPRするには、団体旅行者を中心にするか個人旅行者を中心にするかなど、その地域が何を求めるかによっても全然違ってくるのです」

そんなフンク先生は、個人的に旅行をする時も「こんなに観光客が多いのはなぜだろう」「夏はいいけど冬はどうなんだろう」と考えたり、観光産業の大変さを知っているだけに「おみやげも買わないと悪いな」と思ってしまうそうです。



大切なのは「なぜ？」と思うこと

「何事においても、まず疑問を持つことが大事。教員の言うこともテレビの情報も、そのまま信じてはダメ」という先生。ドイツでは、先生の意見や考えにいかにかに反論できるかどうかで、独自性が評価されるとか。「自分で考え、物事を判断する力を育ててほしい」とメッセージをいただきました。



87年に来日した時に作ったという愛媛のハイキングガイド「エビック」！地形図を見て自分で道を探しながら作ったのだとか

取材・記事 / 法学部3年 小泉 祐子



本棚にビジネスホテルのガイドブック！宿泊施設の分布を調べる時に使ったそう



真鍋 香織 Kaori Manabe

デリカウイング株式会社 デザート工場 商品開発部
(2001年3月生物生産学部卒業)

—入社のきっかけと今の仕事内容は？

昔から「食」に興味があったんです。大学時代にはずっと飲食店でアルバイトをしていました。生活に密着した食に関する仕事がしたい、自分がサービスをすることで人に喜んでもらえる仕事がしたいと思ったのがきっかけです。



現在は、セブンイレブンで販売されるデザートの商品開発を担当しています。新商品を開発する際に最も重要なのが市場調査。いろんなお店を見て回り、今どんなデザートが人気なのか、何が流行っているのかといった情報を集めます。それをもとに商品のコンセプトを決め、試作品を作るんです。コンビニエンスストアは子どもからお年寄りまでさまざまな方が利用されるので、誰からも支持される商品でなければいけません。甘さや食感などは、分析機器を使って数値化するのが今の時代の流れですが、やはり最終的に頼るのは人間の味覚です。誰が食べてもおいしいと思えるものを生み出すために、ほぼ毎日のように作っては食べ、作っては食べと何度も試食を繰り返し、プレゼンテーションに挑みます。

—楽しんで働くことで、自分の存在価値が見つかる。

—やりがいを感じる瞬間は？

何といっても自分が携わったデザートがお店に並び、それを身近な人が食べてくれたり、見ず知らずの人が買ってくれたりするのを見た時です。特に、壁にぶつかりながら作ったものが世に出た時の喜びは大きいですね。一番思い入れがあるのは「抹茶ロール」。中国地区限定ということで開発したのですが、売り上げが良くて全国販売になりました。今の目標は大ヒット商品を作ること。将来的には、新しい食文化を創るような食品を開発していきたいと思っています。

—学生時代に描いていた社会人像とのギャップは？

学生の時は、社会人ってつらいことが多いだろうな、毎日が淡々としていてつまらないんだろうなと思っていたのですが、実際は楽しいです！ ビジネスの世界は最高です！自分たちが汗水流して稼いでいるお金が、世の中を動かしていると思うと、やりがいと同時に責任を感じますね。また、働くことによって、家族や社会に対して私自身が貢献していると実感できた時、自分の存在価値が見いだせます。

社会人になってからは、オンとオフのメリハリをつけるように心がけています。プライベートを楽しむことが、仕事の開発力になると感じているから。学生の皆さんにも「しっかり遊んで!」と言いたいですね。



社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことはまたプライベートの話まで、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

羅針盤 OB & OG 紹介



—テレビ局のカメラマンとしてどんな仕事を？

スタジオや中継を担当しています。複数台のカメラを使うことが多く、それぞれが撮影する映像がスイッチングされて放送されるので、チームワークが大切ですね。もちろんプレッシャーは感じます。自分の撮った映像が、そのまま電波に乗って各家庭に流れるわけですから。一つ一つの撮影に神経を使うようにしています。

入社当時はデジタルメディアセンターという部署でインターネット関連の仕事をしていました。でも次第にカメラを担当したい、現場で働きたいという思いが強くなり、人事異動で今の仕事に。常にやりがいを感じますし、やっぱり撮影現場はおもしろい。離れたくないですね。

音楽ものだと、庄原市で行われた音楽イベント「SETSTOCK」。アシスタントとしてつかせてもらったんですが、すごく楽しかったですね。それから、昨年の夏に行われた第44回衆議院議員総選挙では、ホリエモンことライブドアの堀江社長の出馬で日本中から注目されていた広島6区の亀井事務所を担当。全国ネットの放送で、絶対に失敗が許されないと



堀田 浩司 Koji Horita

株式会社中国放送 技術局制作技術部
(2000年3月大学院工学研究科システム工学専攻修了)

—とにかく撮影現場が好き。プレッシャーを楽しみたい。

カメラマンになってまだ2年ちょっと。今の私にとってテレビというのは「それ以上でもそれ以下でもない、自分を表現する場、ぶつける場、たたかう場」です。

—今までの撮影で印象に残っているのは？

野球中継なら、清原選手の500号ホームランや野村選手の2000本安打の瞬間に立ち会えるのは印象的でした。



いうのは恐ろしいほどのプレッシャーでした。ただプレッシャーは感じ始めると堂々巡りになるので、思い切って楽しんで撮るよう心がけています。

—もし学生時代に戻れるとしたら何をしますか？

勉強…かな。今の仕事では、本当は電波の免許などを持っていたほうがいいんです。大学時代に関連する授業があったのに、必修ではなかったので逃げていた。それが今必要になって。だから勉強しますね。あとは、とにかく時間の無駄遣いをしない。

時間の大切さ以外に、社会人と学生の違いとして感じるのが責任の重さ。社会人として信用を得るということは本当に大変です。人から信頼されるカメラマンを目指し、責任感を持って仕事をしていきたいと思っています。

取材を終えて



最後までずっと、こちらをまっすぐ見て話してくださり、その目の力がとても印象的だった真鍋さん。取材という限られた時間の中ではありますが、明確な目標を持ち、非常にいきいきと動かれている方だと感じました。また、自分の仕事に社会にどう貢献しているかなど、働くことに対する想いを語られる姿は、とても魅力的でかっこ良かったです。

取材・記事 / 総合科学部2年 森尾 洋一



テレビ局という華やかで臨場感あふれる場所が私にはまぶしく、取材中はずっと興奮しっぱなしでした。カッコイイ!!と誰もが思うカメラマンというお仕事。でもその裏には、数知れぬ陰の努力とプレッシャーがあるのだと知って納得。私も将来は、堀田さんのように緊張感を持ちつつ楽しめるような仕事をしたいと強く感じた一日でした。

取材・記事 / 教育学部3年 清水 美帆



「ハサミは要らない!」 「頑張りたいくない!!!」と思っていた私

レザーイ・アリレザー Rezaei Alireza
第20期日本語・日本文化研修生(イラン出身)

テヘラン大学に入学した時から、日本語上達を目指して漢字の勉強を始めました。漢字圏外のイラン。見慣れない文字を書いていると、周囲からは子どもが落書きをしているように見られ、時には馬鹿にされることも。しかし、自分自身の目標達成のため一生懸命努力しました。

来日して一番驚いたのは、広島大学が広島市にないということでした。初めて東広島に来た日に「原爆ドームはどこ? 行ってみたい!」と言うと「広島市内だよ。ここは西条!」との答えが…。来日するまで東広島は広島市の一部だと思い込んでいた私。少し軽率だったなと思いました。もう一つ予想外だったのは、西条の冬が寒かったこと。イランには石油などの天然資源が豊富にあるため、どの家も光熱費を気にすることもなく常に部屋を暖かくしています。一方、日本で私が訪れた家では、少し寒さを我慢してエアコン代を節約していました。日本に来て初めて、

天然資源のありがたさを痛感しました。

留学してから日本人の素晴らしいところをいろいろと知りました。その一つが、仕事に注ぐ集中力や上下関係です。外国人から見ると納



日本語・日本文化研修生の友達と。福山の博物館にて

得しがたい面もありますが、それが今の豊かな日本の土台となっているのですから、私自身は見習うべきだと思っています。他にも、いつも笑顔で元気な声を出す、責任感が強くルールを守る、外国人に対してあまり偏見がない…。日本では当たり前のことかもしれませんが、このような行動ができる人々は世界にはそれほどいないと思います。

逆に、あまり好きになれないこともありました。まず、写真撮影の時のピース・サイン。私にはこれがハサミに見えて、いつも「ハサミは要らないよ!」と言って撮影をしていました。平和を意味すると思っている日本人が多いと聞きましたが、このサインが写真撮影とどう関係があるのか理解に苦しみます。もう一つは「頑張る」という言葉を使いすぎていること。別れの挨拶の代わりに「頑張ってるね」を使う人も多くいますが、そう言われると「何を頑張れと言うのだろう」という疑問が浮かびます。でも、日本人っぽく振る舞おうとするうちに、今では自分も同様の挨拶をするようになってしまいました。

私の夢は「ガンバって!」日本の大学院に入り、国際関係の仕事ができる企業で働くことです。その傍ら、日本の様々な分野の書物を、英語を通さず直接ペルシャ語に翻訳すること。少し型通りの言い方になりますが、日本とイランの友好の一端を担えればと考えています。

最後に、日本滞在中にお世話になった方々、特に指導教官の中川

先生と知り合いの田部さんご家族に、感謝の気持ちを伝えたいと思います。
原文 / 日本語



イスファハンにあるイマーム広場



シーラズにあるベルセポリス。アケメネス朝ペルシア帝国の都



テヘランのシンボル、アザディ広場



西条の祇園祭にて

プロフィール

イランのザンジャン県出身。テヘラン大学外国語学部日本語学科4年。2004年10月、国費留学生として広島大学へ。留学生センターに所属し、日本語の諺と慣用句を研究。05年9月に帰国。

体感地球

わたしの世界見聞録



たとえ短期留学でも、 自分次第で得るものは大きい。

住吉 千夏子 Chikako Sumiyoshi
総合科学部3年

中学生の頃、父の仕事の関係で3週間フランスに滞在し、この国の素晴らしい芸術、洗練された街並み、おいしい食べ物などにすっかり魅了されてしまいました。フランス人の友達もできましたが、当時13歳の私は、英語もフランス語も丸暗記したフレーズでさえ、なぜか気後れて思うように話せませんでした。そんな自分が悔しくて、帰国後ラジオで英語とフランス語の勉強を開始。フランス語は半年ほどで挫折してしまいましたが、大学に入学してから再び第二外国語として学び始め、2年間力を入れて勉強しました。いつかまたフランスに行きたいと考えていた時に、友達からスイス・ローザンヌ大学への短期留学制度*のことを聞きました。スイスはフランス語圏です。国にこだわりこんなチャンスを逃していいのか、今の語学力がどのくらい本場で通用するのかを試したい、また、広い世界に出て自分の殻を破りたいと思い、留学を決心しました。

最初は先生や友達の話している単語の意味さえあまり分からず、自分の言いたいことが言えなくて愕然としました。ショックでかなりへこみましたが「留学期間は一カ月。捨て身でやるしかない!」と覚悟を決め、分からないなりに積極的に話してみたり、自分の言おうとすることを



ローザンヌはスイス南西部。レマン湖のほとりにあるきれいな街

前もって辞書で調べておいたりしました。そうすると少しずつ会話が成り立つようになったのです。

ローザンヌには多くの寿司レストランがあり、テレビでは日本のマンガやアニメが放映されるなど、日本文化は大人気。自国の文化が外国で好意的に受け入れられているのはとても嬉しく、文化を通して他国の人と仲良くなれるのは素晴らしいと感じました。また、日本文化を外国から客観的に見ると、何となく違って見えるという不思議な感覚も味わいました。なんだか「異国風」に見えたのです。これも日本を飛び出したからこそできた体験だと思います。

今回の経験を通して、前より少し度胸がついて自主的に行動できるようになりました。1カ月ぐらいの留学では、ちょっと長めの楽しい観光旅行で終わってしまうという声も聞きますが、少しでも語学力が向上すれば現地の人とコミュニケーションがとれるようになり、密度の濃い一期一会を楽しめます。自分次第でさまざまなことを吸収できるのではないのでしょうか。私は自分に



ローザンヌ旧市街、土曜日の市場の風景。野菜や果物などいろいろなものが売られていました

殻を作らず積極的に飛び出していく気持ちが大切だと思います。

将来は、今勉強している環境科学をベースに、世界の自然と生物の素晴らしさ、人と自然とのつながりなどを国内外に広く知ってもらえるような仕事をしたいと考えています。



クラスメート、先生(奥右から4人目)と一緒に大学内にあるカフェのオープンテラスで



奥に有名なマッターホルンがあるはずなのですが、あいにく雲がかかって見えません。なんとも気まぐれな山です

*ローザンヌ大学で開催される夏季フランス語講座に、2年生以上の広大学生(学部・研究科は問わない)が参加できる制度。7~9月の3カ月間を4期に分け、希望する期に参加する。なお、広島大学文学部とローザンヌ大学文学部は学部間交流協定を締結している。

プロフィール

2005年の夏にスイスのローザンヌ大学に3週間短期留学。その後パリを1週間観光して帰国。

【使用言語】フランス語

【費用】渡航費:往復で約10万円、授業料:約4.8万円、寮費:約6.2万円
生活費:約3.5万円(3週間分)、諸旅行費:約10万円

学生取材班が行く 特別編



ご存じでしょうか？広大ラーメン。テレビや新聞でも取り上げられ、大学祭で見かけた人も多いはず。広大の知恵が入っている！というのがこのラーメンの特徴。今回は、その知られざる秘密に迫ります！！

秘密その1！ 麺

生物圏科学研究科・加藤教授が大腸がんの抑制効果を実証したビタミンB6が配合されています。このB6独特の酸味は、麺の原材料の選定を工夫することで見事にクリア。完成した麺はのどごしや食感も最高！



広大の知恵は麺にあり！



ビタミンB6とは？ 生物圏科学研究科 加藤 範久教授

ビタミンB6は、がん・動脈硬化・アルツハイマー病やうつ病といった脳疾患などを抑制する効果が認められています。食品としては大豆や小麦胚芽・イワシ・サケ・ゴマなどに多く含まれています。でも実は、ビタミンB6は現代人に最も不足している栄養素なんです。ラーメンなら若い人が好んで食べるだろうし、それで足りない栄養素も補える。健康志向のラーメンをぜひ試してみてください。



秘密その2！ スープ

若者の嗜好を考慮した結果、とんこつ醤油味に。試食会での評価を反映させながら試行錯誤。麺との相性も抜群です。

秘密その3！ 学生が作り、売る

この広大ラーメン、実は「広島大学学生ベンチャー連盟」のプロジェクト第一弾。麺やスープの開発はもちろん、商標・意匠づくり、マーケティング、販売方法の検討にまで、学生が携わっているのです！

広島大学学生ベンチャー連盟HP

<http://www.hirodai-venture.com/>



実食レポート

広大ラーメン初お目見え！大学祭で食べてみました。



ビタミンが麺に練りこまれていると聞き、少し癖があるのではないかと考えていましたが、味にはまったく影響なし。お世辞抜きでとてもおいしかったです！



※持ち帰り用は2食分の麺とスープ入り



営業担当に聞く 工学部3年 塩尻 真視さん

広大パワー集大成のラーメンです！うまいだけでなく健康にもいい。現在、HPで注文を受け付けています。ぜひ食べてみてください。商品のさらなる進化のために感想もお待ちしております。



取材を終えて

加藤教授には、ビタミンB6の効能を詳しくお聞きし、さらにB6自体も味見させていただきました。B6の粉末には強い酸味と苦みがありましたが、麺に練り込まれてラーメンとして食べると違和感がなくてビックリ！塩尻さんの話からは、好みやこだわりが強いものだからこそ、製作段階で試行錯誤が繰り返された苦労の様子が伝わってきました。学生も携わる広大の知恵入り健康ラーメン。どうです？食べてみたかったですよ！

取材・記事 / 教育学部4年 小杉 知佳

女子ラクロス部

皆さんは「ラクロス」というスポーツをご存じですか？もともとはインディアンが心身の強化を目的に行っていた格闘技です。日本に上陸したのは1980年代。まだまだマイナーなスポーツです。ラクロスでは「クロス」という棒の先に網のついたスティックを使って、ボールをゴールに運びます。女子ラクロスは、カラフルなクロス、ポロシャツにミニスカートという外見から、おしゃれで華やかなイメージを持たれがちですが、実際は非常にハードでスピード感あふれるスポーツ。ゲームは25分ハーフ、1チーム12人で、サッカー並みに広いコートで行われます。

私たち体育会女子ラクロス部のメンバーは現在28名。部の最大の目標は中四国ラクロスリーグ戦で1部に昇格すること。目標達成に向けて日々元気に練習に励んでいます。



カラフルなクロス



練習風景の写真です。広いコートを全力で走り回ります

ラクロスには「Lacrosse Makes Friends」というスローガンがあります。これは「国籍・年齢・技術レベルを問わず、ラクロスを通じて多くの友達を作ろう」という意味。実際、同じリーグに所属する他大学の選手は、よきライバル、よき友達です。地域の外国人の方と一緒に練習したり、海外のチームと交流試合を行うこともあります。また、大学から始める人が多いので、新入生のサポート体制も充実しています。夏休みにはリーグの新入生が集まり、技術を高めるとともに親交を深めるためのキャンプを実施。秋には新人戦があります。そして、このような試合や行事の企画・運営のほとんどを学生の手で行っているのです。

少しでもラクロスに興味を持たれた方は、ぜひグラウンドや試合会場に足を運んでみてください。元気いっぱいのラクロッサーが皆さんをお待ちしています。



試合後に撮影。学年に関係なく仲良しで明るい雰囲気部の部です

(記事 / 女子ラクロス部・教育学部1年 寺本 量子)

ラクロス部 HP <http://laxmania2005.nobody.jp/>

発見! 元気人

ガンバル広太生の
PRページ。
みんなで応援しよう!

ダンスサークル

「はじめまして」がびったりきます。ダンスサークル部長、兼部員、兼会計…の国本文平です。1人で活動しているので、気が向いたときに河原や駐車場で踊っています。広島大学でダンスと言えば「リズムミック・ダンス・クラブ」を思い浮かべる人が多いでしょうが、実はこんなサークルもあるのです。

基本はバレエやコンテンポラリーダンス。音楽や振り付けを決め、タイミングを合わせて「ハイ、これが私たちの作品です」と披露する、スーパーの総菜コーナーに並んでいるパック詰めされたような作品ではなく、タコの躍り食いのように生々しい、

その場に現出する身体をただ見て楽しめるような作品をつくりたいと思っています。もしかしたらこのタコに墨をかけられるかもしれない、もしかしたら口の中でしぶとく動きまわる絶妙な塩味の旨いタコかもしれない。いつ何が起こるかわからないワクワクする感じを常に探し求めています。

去年9月に開催された「ARTISTIC MOVEMENT IN TOYAMA 2005」(少人数の創作ダンスコンクールとしては日本最大規模の大会)では、特別賞をいただきました。

1月下旬には、お昼休みの時間帯にゲリラダンスを計画しています。また、広島市内、宮崎、東京でも公演をする予定です。「百聞は一見に如かず」。舞台は生モノです。ぜひ一度、見に来てください。一緒に踊ってみようという方からのご連絡もお待ちしております。



ARTISTIC MOVEMENT
IN TOYAMA 2005にて

LUNCH TIME BABY (学内)

- 1月23日(月) スペイン広場
- 1月24日(火) 北第2福利会館周辺
- 1月25日(水) サタケメモリアルホール前
- 1月26日(木) 北第1福利会館周辺
- 1月27日(金) スペイン広場

広島・宮崎・東京公演

- 1月28日(土) 池澤舞踏研究所発表会 (アステールプラザ大ホール)
- 2月12日(日) Movement Art in 宮崎2006 (宮崎県立芸術劇場大ホール)
- 3月4日(土) University Dance Cross 5th
- 5日(日) (東京 セッションハウス)



(記事 / ダンスサークル・総合科学部2年 国本 文平)

ダンスサークル連絡先 bunpei_k@hotmail.co.jp

Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

動き出す到達目標型教育プログラム



理事・副学長(教育・研究担当) 谷口 雅樹

2006年4月から広島大学の教育システムが変わり、到達目標型の教育プログラムがスタートします。この教育プログラムは学外からも高い評価を受け、例えばZ会のHPでは「学生にとって画期的でありがたい試み」として注目されています。

<http://www.zkai.co.jp/z-style/eyez/050923.asp>

はじめに

英国の「The Times Higher Education Supplement」誌による「世界大学ランキング」において、広島大学は、2005年現在、世界で147位(日本で7位)の位置付けとなっています。本学の到達目標である「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を実現するためには、個性的で魅力ある学部教育の展開が最重要課題の一つであり、大学の将来を制するものと考えています。

到達目標型教育プログラムとは何か

教育プログラムでは、4年間(学部によっては6年間)の学士課程教育の明確な目標(到達目標)が設定され、その目標達成のために授業内容や方法が十分に吟味された授業科目が統一的かつ体系的に配置されます。また、到達目標(知識・理解、能力・技能など)とその意義、取得単位、卒業要件と履修単位、授業科目のシラバスおよび成績評価の方法があらかじめ明示されています。

本学の教育プログラムのコンセプトは、次の3つです。

● **みえる** ● 入学する前に、学習内容などがよく「みえる」ようになっているので、「何をどのように学んで、何を身に付けるのか」によって、広島大学を選ぶことができる。

● **つながる** ● 入学した後に、高等学校で習った授業と大学で学ぶ授業の間や、大学で学ぶ授業と授業との間が「つながる」ようになっているので、自分の学習を効率的に進めることができる。

● **つかえる** ● 卒業までに、身に付けた知識や理解のレベル、能力や技能の長所がみえるので、これらの生かし方が分かり、社会や大学院で「つかえる」実力を養うことができる。

なぜ、教育プログラムを導入するのか

2004年4月にすべての国立大学が国立大学法人に移行したことが象徴するように、大学を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。また、社会は、単に大学を卒業したというだけでなく、独創性、即戦力、基礎学力等を身に付け、幅広い視野から物事をとらえ、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断を下すことができる人材を強く求めるようになってきています。

このような状況の中、『豊かな人間性を培う教育』を理念の一つとして掲げる本学では、教育目的と卒業生像を明確にし、到達目標型教育による教育の質的向上を図ることを「広島大学の中期目標」として掲げています。2006年4月から導入する「教育プログラム」は、この到達目標型教育を実施するためのシステムです。

具体的には、明確な教育目標を設定し、それを達成するための教

育プログラムを整備します。そして充実・強化した教育内容、教育方法により学生の成長を促し、社会に出て堂々と活躍できる実力を養成することを目標にしています。

在学生への影響…授業時間帯の変更など

教育プログラムは、2006年4月以降に学部に入学者が対象となります。現在、在学している学生に対する教育は、入学時に配布した学生便覧に沿って行いますので、教育内容が変更されることはありませんが、教育プログラムにうたわれている精神を存分に生かした授業を進めていくことになるでしょう。

なお、教育プログラムの導入に伴い、授業実施時間帯の変更が生じます(学部および大学院)。変更の要点は以下のとおりです。

要点

● 授業の開始時間が、現行の午前9時から8時45分に変更となります

● 授業と授業の間の休憩時間が、現行の20分から15分に変更となります

ただし、2コマと3コマの間の昼休憩時間は、現行と同じ50分で変更はありません

● 東千田、東広島、霞キャンパス間の双方向授業実施のために、昼間と夜間の授業時間帯が連続的になります

なお、授業実施時間帯の変更に伴い、JR等の公共交通機関へは運行時間や車両数の変更などを要請しています。また休憩時間が短くなることへの対応については、例えば、総合科学部で行われる教養的教育の体育の時間と各学部で実施される教養ゼミの時間が出来る限り連続しないよう時間割を工夫するなどしています。なお、障害学生に対するサポート方法についても検討済みです。

おわりに

本学の展開する到達目標型教育プログラムが、我が国の学部教育のモデルとなり、さすが「教育の広島大学」と評価されるよう大学をあげて取り組んでいきたいと考えています。本学のこの取り組みについて、全学的観点から俯瞰理解していただきますようご協力をよろしくお願いします。

教育プログラムの詳細については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/>

8年連続 総合優勝達成! 第56回中国五大学学生競技大会

第56回中国五大学学生競技大会の冬季大会が行われ、広島大学が総合1位に輝きました。これにより、本学は、夏季大会・冬季大会を合わせた総合成績で8年連続優勝を果たしました。

広島大学の成績(冬季大会)

競技種目	順位			
サッカー	1位			
ラグビー	4位			
バスケットボール	男子	1位	女子	1位
柔道	男子	1位	女子	1位
剣道	男子	4位	女子	1位
アーチェリー	男子	1位	女子	2位
ハンドボール	1位			



全日本大学女子駅伝対校選手権大会に出場 —陸上競技部—

第23回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が11月27日(日)に仙台市で行われ、広島大学は6年ぶり5度目の出場を果たしました。6区間39kmのコースで記録は2時間31分18秒。5・6区では繰り上げスタート(トップから10分遅れると前走者を待たずにスタートするルール)になり、出場26チーム中26位の成績でした。キャプテンの大國さんは「この経験を糧にして、来年再び全国大会に出場し、今回つなぐことのできなかった襷を最後までつなげるようトレーニングを重ねていきたい」と今後の目標を語りました。



出場選手

- 1区(6km) 出井 陽子さん(教育学部1年)
2区(4km) 小谷奈緒美さん(教育学部3年)
3区(6.7km) 杉山美奈子さん(大学院生物園科学研究所科博士課程前期1年)
4区(10km) 大國沙輝子さん(教育学部3年)
5区(4km) 川端 綾子さん(教育学部3年)
6区(8.3km) 高田 藍里さん(生物生産学部1年)

98チーム、約700人が参加 —第43回フェニックス駅伝—

広島大学体育会主催の第43回フェニックス駅伝が12月4日(日)に開催され、一般の部と女子の部を合わせて98チーム、約700人が参加しました。



一時は豪雨となりましたが、ランナーたちは大激走。全チームが完走を果たしました。上位チームは右記のとおりです。

一般の部(40.2km)

- 1位 トライアスロンガルスA
2位 広島市スーパースターズ
3位 トライアスロンガルスOB

女子の部(10.7km)

- 1位 広島市スーパースターズ
2位 緑翠女子A
3位 かすみ陸上部

ホームページを開設 —体育会本部—

広島大学体育会本部のホームページが開設されました。主な内容は以下のとおりです。

■WEB版体育会新聞「広大スポーツON LINE」

体育会に関する様々な記事(体育会所属団体の戦績やフェニックスの名を冠したスポーツイベントの告知など)

■体育会入会特典の紹介

体育会会員なら無料で借りられる物品やお得なサービスを受けられる特約店の一覧

■本学学生が学内体育施設を利用する方法

体育会本部のホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/sitehusa/T-honbu/>

ドリームチャレンジ賞に26件を採択 —広島大学同窓会—

広島大学がオンリーワン・ナンバーワンの国際競争力のある大学になるために、学生の自主的な活動に対して同窓会が活動資金の一部を助成する「ドリームチャレンジ賞」。このたび、51件の応募の中から26件が採択されました。詳細は以下のHPをご覧ください。

広島大学同窓会のホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/dousou/index.html>

第4回広島大学長表彰の授与式を開催

教育・研究や社会貢献等で特色ある顕著な業績を挙げ、広島大学の発展に貢献した学内外の個人または団体を表彰する「広島大学長表彰」。平成14年度に牟田学長の発案により設けられた制度です。今年度は、学内外合わせて10名の方々に表彰状が授与されました。また、俳優の須藤温子さんには名誉学生の称号が併せて授与されました。

被表彰者(学外・学内・50音順)

■教育研究等支援活動

● 上田 博之さん(広島県東広島市長)

■その他の功績

- 佐藤 秀明さん(映画『ちゃんこ』プロデューサー、ドリームワン代表取締役)
● 柴川 敏之さん(映画『ちゃんこ』モデル、福山市立女子短期大学助教授)
● 須藤 温子さん(映画『ちゃんこ』主演女優、(株)オスカープロモーション女優)
● 中本 光架さん(映画『ちゃんこ』モデル、(株)カネカ研究員)

■教育活動関係

- 泉 俊輔さん(大学院理学研究科助教授)
● 高橋 一郎さん(大学院医歯薬学総合研究科教授)
● 田中 義人さん(大学院保健学研究科教授)
● 寺垣内政一さん(大学院教育学研究科助教授)

■研究活動等関係

- 杉山 政則さん(大学院医歯薬学総合研究科教授)

編集部からのお知らせ

●HU-style編集基本方針

- 学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてみらうべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめ様々な人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
- 本学に関する情報の伝達と周知

●投稿募集

- ①掲載された記事へのご意見、ご感想
1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上での匿名もOKです。
- ②情報の提供、『HU-style』への提言
取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。
- ※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

●学生広報スタッフ募集!

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

●定期購読のお申し込み

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

●本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

●個人情報保護について

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

●お問い合わせ・お申し込み

広島大学情報化推進部広報グループ『HU-style』編集担当
(連絡先は下記参照)

編集後記

仕事に生きて二十数年、我々の世代は働くのは当たり前で、働く前にその意味を問うたことなんてなかった。働き始めてからも目の前の仕事を処理するのに精一杯で、働く意味を考える暇もなし。意味を問われて直ぐに頭に浮かぶのは「お金稼がにゃ生活でんから」これじゃ記事にならないですね。

一方、「仕事に生きるなんて嫌です。そのうちコトブキ退職しますから」冗談か本音が時々こんなことをいう編集部の若い同僚。働き始めて4年。今回の特集をどうまとめるか、机で頭を抱えている姿が印象的でした。

「働くって何だろう?」広大生の皆さん、しっかり考えてくださいな。(なお)

HU-style 2006年1月号 Vol.4 (季刊)

編集・発行 広島大学情報化推進部広報グループ
住 所 〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号
電 話 082-424-6017
F a x 082-424-6040
E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp
制 作 有限会社トゥービー
印 刷 中本総合印刷株式会社

※次号は4月1日発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)

映画『ちゃんこ』全国ロードショー決定

広島大学相撲部をモデルにした映画『ちゃんこ』が、3月18日から新宿トア・T・ジョイ大泉で上映されます。放映館は、順次拡張予定です。



『ちゃんこ』オフィシャルページ

<http://www.neoplex.co.jp/cinema/chanko/index.html>

広島大学優秀学生奨学制度を創設

平成18年度から、学業成績や学術活動等が優秀な学生に対して広島大学独自の奨学制度を創設します。

詳細は、後日発表予定です。

入学センター大阪オフィス開設

2005年12月、大阪市北区中之島に「広島大学入学センター大阪オフィス」を開設しました。

オフィスには担当者が駐在し、広島大学の学部入試・大学院入試についての相談に応じます。また、高校生・教職員や一般の方々を対象とした講座・説明会などを実施し、広島大学の教育・研究活動における関西地域の窓口となります。

所在地：〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

キャンパス・イノベーションセンター5F (503)

Tel：06-6444-2112 Fax：06-6444-2114

入学センター大阪オフィスのホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/admicen/nyusi/osakaoffice.html>

愛称募集中! —東広島天文台の1.5m望遠鏡—

広島大学宇宙科学センター東広島天文台に設置される「1.5m望遠鏡」の愛称を募集しています。この望遠鏡は国立天文台から譲り受け、国内3番目の大きさを誇るもの。愛称の応募期間は2月28日まで。詳細は以下のHPをご覧ください。

なお、天文台は東広島市西条町下三永の山頂に建設中で、完成は2006年5月の予定です。

宇宙科学センターのホームページ

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc/>

卒業の記念や帰省時のおみやげにいかが? —広大グッズ—

広島大学のコミュニケーションマークを使用した様々なグッズが広島大学生協で販売されています。ネクタイ、マグカップ、Tシャツ、シャープペンなど十数種類。今後、まんじゅうやクリスタル製のペーパーウェイトも販売される予定です。卒業される皆さんは記念品として、また在学生も自分で使うのはもちろん、帰省時のおみやげなどにはいかがですか?



広大生協のホームページ

<http://ha5.seikyoku.ne.jp/home/hiroshima-u/>

寄付金 財団法人広島大学後援会 福本 正さん(学外の方)

2006年1月～4月までのスケジュール

1月	1.10～ 授業開始
	1.27 日本学生支援機構 大学院第一種奨学金 返還免除候補者申請書類提出締め切り
2月	2.1～ 前期分「授業料等免除申請のしおり」配布 学生総合支援センター経済支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
	2.1～ 前期分授業料免除等申請受付※ 3月1日以降は、学部等を指定して申請受付を行います。 詳しくは「授業料等免除申請のしおり」で確認してください。
	2.11 TOEIC® IPテスト(学部1～3年生対象)
	2.12～4. 8 学年末休業、春季休業
3月	3月下旬 日本学生支援機構奨学金案内の配布 学生総合支援センター経済支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
	3.23 学位記授与式
	3.27～3.28 給付奨学金(地方育英会・財団等)の事前申請書類受付(在学生)
4月	4.3～ 健康診断※
	4. 3、4. 5 交通安全講習会
	4. 3～4.24 履修手続※
	4. 4 入学式
	4.10 前期開始
	4.10 給付奨学金(地方育英会・財団等)の事前申請書類受付(新入生)
	4.10～ 日本学生支援機構奨学金出願受付※ (学部2年生以上)
	4月中旬～ オリエンテーションキャンプ※
	4.20～ 日本学生支援機構奨学金出願受付※(大学院生)
	4.28 授業料振り込み 締め切り

注意

※印のあるものは、学部・研究科等によって日程が異なります。
必ず「もみじ」やHP、掲示板等で確認してください。

P R コ ー ナ ー

広大アートファーム企画Vol.1 音楽と映像のコラボレーション

Corecchiocchi ～感覚の玉手箱～

公演日：3月24日(金) 昼公演 14:30開演 夜公演 19:00開演
会 場：広島市南区民文化センター・ホール

「Corecchiocchi」はイタリア語で「心」を表す「Core」、「耳」を表す「Orecchi」、「目」を表す「Occhi」を組み合わせた造語。現代音楽アンサンブルとコンピューター制御の映像・音響が手を取り合い織りなす立体空間が、忘れかけていた感覚を呼び覚まします。

■お問い合わせ ■ 広大アートファーム Tel:090-6437-6815

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hisatome/artfarm/>

卒業後に『HU-style』の定期購読を希望される方へ

①名前 ②学部・研究科 ③学生番号 ④送付先(住所) ⑤連絡先(電話番号／メールアドレス)を明記して、メールまたはFaxでお申し込みください。
広島大学情報化推進部広報グループ『HU-style』編集担当
お申し込み先 Tel：082-424-6017 Fax:082-424-6040
E-mail：koho@office.hiroshima-u.ac.jp

COVER 人 第4号



「新年の飛躍」をイメージし、広島大学の中央図書館で撮影。袴姿は高山さんのさわやかなイメージにぴったり。モダンな建物にもマッチし、存在感のある写真となりました。

高山 聖さん

●法学部3年

●室内合奏団(2ndバイオリン)所属

本人コメント

成人式で着れなかった「紋付き袴」を着ることができてすごく嬉しかったです! 去年は、サークルでもバイトでも最高学年としてメインを務めた1年でした。12月に最後の定期演奏会が終わってしまいましたが、引き続きバイオリンも楽しみつ、今年はコースクール入学を目指してきっちりと勉強に邁進するつもりです!

表紙モデル募集

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど…という方は気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

CONTENTS

01 あの人に会いたい

…01 アグネス・チャン

特集

働くって何だろう?

PART1 学生に聞く 03

PART2 人事部長に聞く 05

07 学生取材班が行く

…07 冬こそアクティブに

—ウインタースポーツ—

…07 熱くなれる?冬の味覚

—美酒鍋—

Knock on the door

総合科学部 03

フंक研究室訪問

09 羅針盤 OB&OG紹介

…09 真鍋 香織

…10 堀田 浩司

体感地球

わたしの世界見聞録

レーザーイ・アリレーザー 11

住吉 千夏子 11

13 学生取材班が行く「特別編」

…13 広大ラーメン

発見! 元気人

ガンバル広大生のPRページ

みんなで応援しよう!

女子ラクロス部 14

ダンスサークル 14

15 Hi! Hirodai Information

…15 動き出す

到達目標型教育プログラム

…15 各種お知らせ

…15 COVERな人

…15 編集部からのお知らせ



キャンパスを歩く人たちを Snpp Snpp! 《新年の抱負編》

